

平成30年度総合政策調査委託事業

中山間地域における小規模・高齢化集落実態調査【概要】

1. 目的と概要

本市における中山間地域の集落では人口減少・高齢化が進行し集落の人口規模と世帯規模ともに縮小する「集落の小型化」が進行しており、暮らしに必要なコミュニティ機能の維持や、集落を担う若者の定着、地域の誇りや活力を生み出す施策が必要と考えられる。

そこで、本市の中山間地域における小規模・高齢化集落の生活者の視点を重視した実態調査と分析を行い、地域コミュニティの維持及び活性化対策事業の基礎資料とするもの。

2. 調査方法

鳥取大学工学部社会システム土木系学科谷本研究室へ委託して、高齢化率が30%程度以上であり、かつ35世帯未満である52集落の799世帯を対象に、「鳥取市中山間地域における集落実態に関するアンケート調査」として「個人調査票（18歳以上の住民が回答）」、「世帯調査票（世帯主が回答）」、「集落調査票（区長が回答）」の三種類に分けて実施した。

3. 調査結果

【個人調査】（18歳以上の者）

属性、今後の居住の意向、外部からの受入れの意向、今後10年における不安など8項目について調査し、地域住民の集落に対する意向を把握した。

(1) 居住意向

48集落において住民の50%以上が「住み続けたい」または「できれば住み続けたい」と回答した。

(2) 今後10年における日常生活に対する不安（個人調査・主なもの）

項目	50%以上が「とても不安」	50%以上が「とても不安」又は「やや不安」
豪雨・土砂崩れなどの自然災害	25集落	52集落
除雪	19集落	52集落
移動(通勤・通学・買い物)	6集落	44集落

(3) 生活支援の利用・協力意向（個人調査・複数回答）

	送迎支援	買い物支援	雪かき 雪下ろし	家事代行	声かけ 見守り	その他	何もない
利用意向	21.2%	18.3%	49.0%	6.7%	20.4%	3.2%	23.2%
協力意向	11.5%	14.2%	23.7%	3.9%	44.1%	2.4%	26.6%

【世帯調査】（世帯主）（回収率 77%）

属性、財産の管理、集落活動への参加状況など6項目について調査し、世帯の生活実態を把握した。

【集落調査】（区長）（回収率 98%）

属性、集落の運営及び活動、集落の維持対策、活性化対策など8項目について調査し、集落の実態を把握した。

【集落への個別ヒアリングの実施】

アンケート調査の結果から、①住民生活で今後の不安が大きい、②生活支援や活性化のための対策の実績がある、③区長のやる気が高い、と考えられる10集落を選定し、個別にヒアリングを実施した。ヒアリングの中で、住民の不安に感じていること、これまでの取り組み実績、やる気などから、集落の特徴を明らかにした。

4. 今後の取り組み

今回の報告書を庁内各課及び各総合支所と情報共有するとともに、区長と協議ながら集落の機能維持につながる補助金活用や今後の施策の方向性を検討していく。

また、調査結果を受け、移住者の受入れによる集落の活性化等の意向が強い集落については、中山間地域振興推進員が積極的に関わり、必要な支援を行っていく。